

## 「きたしん『ふるさと振興基金』」で、わかち愛劇団が大賞！



大賞に選ばれた「わかち愛劇団」のメンバー



文化部門賞に選ばれた「とちのみ」のメンバー

北空知信用金庫の令和7年度「きたしん『ふるさと振興基金』」の受賞団体が決まり、妹背牛町内からは「わかち愛劇団」と「青空自主保育とちのみ」の2団体が文化部門賞に選ばれました。さらに「わかち愛劇団」は大賞も受賞しました。

同基金は、地域の発展に貢献する事業所や団体を支援することを目的に毎年実施されており、今年も3部門から北空知管内の8団体が選ばれました。「わかち愛劇団」は、認知症や介護をテーマにした演劇活動を通じて、地域の理解促進や文化交流に貢献。一方、「とちのみ」は、自然の中で子どもが主体的に育つ環境づくりや、保護者同士のつながりを育む活動を続けています。

3月26日には、北空知信用金庫本店（深川市）で表彰式が行われ、池内英二理事長は「地域の元気は、地域で挑戦し続ける人によって生まれます。これからも皆様の活動を応援していきたいです」とあいさつ。地域に根ざした継続的な取り組みに、今後も期待が寄せられています。

## 地域おこし協力隊通信

妹背牛町に在籍する地域おこし協力隊員の活動状況などを紹介します。

### 米林 弘樹 さん

妹背牛温泉「ペペル」のにぎわいづくりに取り組む地域おこし協力隊の米林弘樹さんは、施設の魅力発信を担う存在として活躍しています。

熱波師「シルヴァニア・ヨネ」としての活動に加え、来館者の関心を高めるための様々な企画を展開。その一つが、今年1月から館内売店で販売を始めたオリジナルTシャツです。

スタッフや関係者の意見を取り入れながら、制作会社とデザインや着心地について打ち合わせを重ね、来館の記念として手に取って

もらえるよう工夫を凝らししました。

やわらかなタッチの白いTシャツは、中央に描かれたバレルサウナを囲むように、アップルミントなどの地場産品を円形に配置し、親しみやすさと地域らしさを表現しています。

一方、黒いTシャツは中央に力強い「熱波」の文字を大きくあしらひ、黒地に赤の配色でサウナの熱気や熱波師の躍動感を象徴するデザインとなっています。

さらに、ペペルの公式LINEの運用にも力を入れ、イベントやお得な情報を定期的に発信。利用者との接点を増やし、リピーターの獲得につなげています。米林さんは「お客様に楽しんでもらえる仕掛けを考えるのが楽しいですね」と話しています。



地域性にこだわったデザインのペペルオリジナルTシャツを持つ米林さん



妹背牛温泉ペペル  
LINE QR コード